

国の緊急事態宣言全面解除と福岡県方針を踏まえた古賀市の対応について

政府が新型コロナウイルス感染症対応で発令していた緊急事態宣言を21日までで全面解除すると決めました。福岡県も不要不急の外出自粛や飲食店に対する営業時間の短縮などの要請について同日をもって解除すると決めました。これらの動きを受け、古賀市として19日に対策本部を開催。全ての公共施設について閉館時間の繰り上げを解除することを決めました。22日以降、密を避けるための利用人数の制限などの感染防止策を講じながらも、通常の開館時間で運用していきます。

福岡県の感染状況が改善し、措置を緩和できたことは市民の皆さまの多大なるご協力のおかげであり、心から感謝を申し上げます。一方、病床のひっ迫や、直近1週間と先週1週間を比較しての感染状況の数字を見ると、平時に戻ったわけではないことが分かります。また、市民の皆さんのワクチン接種に向けて、古賀市として医療機関などと連携して接種体制の構築を進めていますが、国の方針として高齢者の接種を4月12日に開始することが示されているものの、地方自治体にワクチンが供給される時期や量が明確になっていないこともあり、市民の皆さまへの接種の効果が広く行き渡るには時間を要します。専門家から感染再拡大（リバウンド）を生まないための対策の必要性も指摘されており、私たち一人一人が「自分と大切な人の命」を守るため、日々の生活で感染防止に取り組みながら社会・経済活動を回復させなければなりません。

こうしたことから、市民の皆さんは、引き続き、日常生活における「3密」回避とマスクの着用、手洗いや消毒などを徹底してください。県から皆さんへの要請を踏まえ、飲食店の利用に際しては、4人以内の少人数で2時間以内とすること、会話の際はマスクを着用することなどを強く意識していただきたいと思います。テレワーク（在宅勤務）や時差出勤、分散勤務など、人との接触を低減する取組も推進してください。自治会など市民団体の行事や会合も感染防止策を講じながらの開催をお願いいたします。

そして、感染した方やそのご家族、医療従事者への差別や偏見を許さないという決意を新たにしましょう。誰がいつ感染するか分かりません。古賀市は「シトラスリボン運動」に賛同し、やさしさの輪を広げています。今後も共に取り組んでいただきたく思います。

なお、ワクチン接種に関するスケジュールなどについては、準備が整い次第、適宜、広報紙やホームページなどを通じて情報を発信してまいります。

市民の皆さまのご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。共に頑張りましょう。

令和3年3月19日
古賀市長 田辺一城